

「瑞穂小だより」

令和5年 9月 7日
令和5年度 第12号 ㊦
伊丹市立瑞穂小学校 校長室

<学校教育目標> 『「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～』
—あしたも来たいと思える学校—

「人権授業参観」のご参加 お待ちしています ～「他人の不幸の上に自分の幸福を築かない社会」を目指して～

8月28日（月曜）。瑞穂小学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。2学期も宜しくお祈りします。

さて、夏休み中の8月6日、広島に原爆が投下されてから78年を迎えました。私は、平和を誓う記念式典をテレビで見て、黙祷も行いました。

式典では、小学校6年生の二人が「平和への誓い」を発表しました。一部を紹介します。

みなさんにとって『平和』とは何ですか。

争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。身近なところにもたくさんの平和があります。

自分たちができることは何か。

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友だちのよいところを見つけること。みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。

誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。

また、去年は広島市長が平和宣言で『他人の不幸の上に自分の幸福を築いてはならない。他人の幸福の中にこそ、自分の幸福もあるのだ』と話されていました。

他人の不幸や幸福を考えながら行動する、つまり「**相手の立場になって考える**」ことが平和な社会を創る基盤になります。ただ、なかなか難しい事です。

今回の授業参観は「人権授業参観」。9月8日(金)5校時(13:20～14:05)。

担任の先生は、夏休み中も資料作りや指導方法の研究に熱心に取り組んできました。子どもたちには、自分と友達も含めた幸福を考えられる人になって欲しいと願っています。

人権学習は、何か難しそうで、自分とは関係がないようにも感じて、心が少し引いてしまう場合もありました。それでも学び続けていく中で、**相手の気持ちを考えて、行動できること人が増えれば、「みんなが笑顔になれる！幸せな社会になれる！！」**と思いました。

授業参観での子どもたちの活躍が楽しみです。

お忙しいと思いますが、保護者の皆様も是非参観して一緒に考えていただきたいと思います。お待ちしております。



☆おめでとう 瑞穂っ子！☆ 児童3人と団体1組を紹介しました



瑞穂っ子が、熱心に頑張ってきた努力が、大きな花となって咲き誇ることができますように応援しています

